



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.54 No.5 (May 2013)

【特集：パズルの数理】

- Editor's Message for Special Issue on Mathematics of Puzzles
Hiro Ito
- Finding a Hamiltonian Path in a Cube with Specified Turns is Hard
Zachary Abel 他
- A Tale of Two Puzzles: Towers of Hanoi and Spin-Out
Paul Cull
- A Picturesque Maze Generation Algorithm with Any Given Endpoints
Koki Hamada
- Square Subgroup of Rubik's Cube Group
Osamu Ikawa 他
- NP-Completeness of Arithmetical Restorations
Tomomi Matsui
- The Complexity of Tantrix Match Puzzles with Four Colors
Akihiro Uejima 他

【一般論文】

- コード修正履歴情報を用いた修正漏れの自動検出 肥後芳樹 他
- モバイルエージェントを用いた格子状ネットワークを構成するユビキタスコンピュータ群の制御 國本慎太郎 他
- 音楽要素の分解再構成に基づく日本語歌詞からの旋律自動作曲 深山 覚 他
- 拡張現実技術を応用した物語表示システムの開発—物語の進行をページめくりのみに依存するシステム— 大倉 充 他
- 関東地方における電子マネーの普及要因と普及促進策 渡部和雄 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (May 2013)

【Transactions on Bioinformatics Vol.6】

- Protein Experimental Information Management System (PREIMS) Based on Ontology: Development and App
Junko Sato 他



2013 年度定時総会の開催について

会長 古川 一夫

2013 年度定時総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、5 月中旬頃に法律上の社員である代表会員に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 2013 年 6 月 5 日 (水) 16:00 ~ 18:00
- 会 場 学士会館 (東京都千代田区神田錦町 3-28)
- 次 第
1. 2012 年度に係る報告
 2. 新名誉会員の推薦
 3. 新役員の選任
 4. 2013 年度に係る計画 (報告)
 5. 会費滞納会員の取り扱い (報告)
 6. 表彰 (功績賞ほか)

※ 総会終了後、懇親会を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

CONTENTS

Preface

"Beautiful" and "Romantic"

Yoichi MURAOKA (Waseda Univ.)

Special Features

Real World Wearable Activity Sensing and Its Applications

562 0. Foreword

Nobuhiko NISHIO (Ritsumeikan Univ.) and Nobuo KAWAGUCHI (Nagoya Univ.)

564 1. HASC Corpus : Large-Scale Human Activity Sensing Corpus and Its Applications

Nobuo KAWAGUCHI (Nagoya Univ.)

568 Column1 : Introduction of Activity Signal Processing Tool "HASC Tool"

Katsuhiko KAJI (Nagoya Univ.)

570 2. Pedestrian Dead Reckoning using Smartphones

Daisuke KAMISAKA and Shigeki MURAMATSU (KDDI R&D Labs. Inc.)

574 3. From Human Activity Sensing to Automated Recognition Research

Nobuhiko NISHIO (Ritsumeikan Univ.)

578 4. Living Activity Recognition by using a Smartphone

Kazushige OUCHI (Toshiba Corp.)

582 5. On-body Localization of Mobile Devices

Kaori FUJINAMI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)

586 Column2 : Information Compression for Large Scale Activity Sensing

Yoshihiro KAWAHARA (The Univ. of Tokyo)

588 6. Sensing and Analyzing Driving Behavior using Wearable Sensors

Masahiro TADA (Kinki Univ. / ATR)

592 7. Real-world Applications for Wearable Sensing

Tsutomu TERADA (Kobe Univ.)

596 8. Sports Movement Assessment using Wireless Inertia Sensor

Yuji OHGI (Keio Univ.)

600 9. Smartphone Activity Data Collection and Nursing Activity Sensing

Sozo INOUE (Kyushu Institute of Technology)

Airticles

606 In-body to On-body Sensor Network Technology Realizing Most-advanced Medical Care - For Less-invasive and Highly-reliable Medical Care -

Chika SUGIMITO and Ryuji KOHNO (Yokohama National Univ.)

612 Trend of Smart Grid in Japan

Yasuhiro HAYASHI (Waseda Univ.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

556 2012 Nomination of the Information Processing Technology Heritages

Hiroharu ASAH (Hitachi, Ltd.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

561 Amdahl Project and Ikeda Doctrine

Naoya UKAI (formerly Fujitsu Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

621 Guidepost for Thinking

Satoru KAWAI (The Open Univ. of Japan)

622 Creative IT Engineers Development through Collaborative Management Approach

Yoshiaki MATSUZAWA (Shizuoka Univ.), Yoshihide CHUBACHI (Advanced Institute of Industrial Technology) and Hajime OHIWA (Keio Univ.)

626 An Observation Trip Report about Modern Industry - University Co-operative Education in Republic of Korea

Zenjirou OHBA (Toyo Univ. / CeFIL)



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「世界創作の技法」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■突然「脳の高次機能」とか「ビッグデータ」といった小難しい用語が現れていたりして、最近の読者はこういうのを喜ぶのでしょうか。(匿名希望)

■デジタル化されたビッグデータをただ追うのではなく、アナログの作品にも目を向ければ、情報社会の未来は明るくなるように思う。(匿名希望)

特集「IT・ソフトウェア特許の新潮流」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最近の動向としてどういうことを注視されているかが分かりました。(匿名希望)

■ソフトウェア関連の特許の場合には、他の工業製品とは異なる性質があるようです。まず、構造を見ただけですぐにまねをされて、優位性を侵害される恐れのあるときに、特許権を行使して保護することがあります。しかし、ソフトウェア関連の特許では保護したいアイデアを知られてしまうと、すぐに別の方法によって実現されてしまう恐れがあるのではないのでしょうか。また、大規模な資金を投入しなくても、別の方法を用いて、比較的小金をかけずに実現できるケースもあると思います。さらに、陳腐化も激しいので、特許権の最長存続期間である20年のメリットが、得られにくい場合もあるのではないのでしょうか。このため、ソフトウェアを請け負っている方たちは、わざわざ特許出願して、アイデアを不特定多数者にさらし、特許権維持のためにお金をかけるよりも、非公開で製品化した方がメリットは大きいと考えるのではないのでしょうか。ソフトウェア関連についてはこれから日本の社会で定着するかどうかはまだ疑問だと思います。ただし、パテントトロールのような、特許権それ自体を売買の対象として、威嚇手段のための債権のように取り扱われる風潮が、欧米を中心に起こっているということは少し驚きでした。この問題については、今後も日本社会における法的な対応が必要になるのではないかと感じました。(匿名希望)

■今回の特集は、まさに情報処理学会ならではのもので、とてもよい。ただ、一部に著者の主張が混じっており、あるべき姿を言っているのか、普遍的な事実なのか、注意しないと

分かりにくい。

(山崎憲一)

■特許庁のシステム開発が破綻した経緯についても同じ特集内で扱うと、もっと興味を持つ方もいたのではないかと感じました。(匿名希望)

■昨今のニュース等でソフトウェア特許やフォレンジックについて関心が高まっていたので、とてもタイムリーな特集でした。研究者としてこうした問題は大変重要であると感じており、さまざまな問題に直面したときにこうした備えをどのように行っていけばよいのか？ということが示されていたので、大変読み応えがあった。今後もこうしたソフトウェア特許やフォレンジック技術の動向について関心を寄せていこうと思う。(中村佳祐)

■本特集で取り上げられているように、特許の検索技術や管理機能の向上は、新たな技術発信をより円滑に行う上で特に重要となるように思う。(匿名希望)

「2. 特許と情報学」

■支援ツールは特許化のモチベーションをあげるのでは？(匿名希望)

■PatentGeneratorを使って作成した書類の内容についてはどの程度の手直しが必要となっているのか気になった。(匿名希望)

「3. ITエンジニアが知っておくべき特許情報調査の基礎知識」

■事例も挙げられていて分かりやすかった。多数の公報がヒットした場合に絞り込む方法についても事例が示されていると良かった。(匿名希望)

「5. ソフトウェア産業の発展を阻害するパテントトロールへの対策」

■トロール対策については、特許法の改正が必要なのではないかと思っていた。特許の本質が産業の発展や技術の進歩であることを考慮すると、請求者の持つ特許が将来3年以内に実施され得ない状況にあるとき、特許の濫用であると認定し、運用で対応するというのは現実的であると思った。(匿名希望)

■特集集中にあった「パテントトロール」について、言葉は存じておりましたが今回の記事を拝読して初めてある程度まとまった知見を得ることができました。こういったITをめぐるパテントトロールやその他さまざまな悪意への警鐘を、時々取り上げていただければありがたいです。(梅川通久)

「6. IT・ソフトウェアの標準化と特許」

■特許と標準化のジレンマの記事は面白かった。(匿名希望)

ミニ特集「コンピュータ囲碁の最前線」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■囲碁の特集は興味を持ってました。思考の継続性を入れるべきかと思いました。(五味 弘)

■情報学の領域で、囲碁と将棋が取り上げられることが多いのですが、最近の若い人、特に、学部学生を見ていると、囲碁や将棋をやったことのない人が増えているように感じます。このような、将棋や囲碁に触れたことのない人たちに、コンピュータを活用した情報学の魅力を伝えていくためには、何らかの工夫が必要であると思います。(水野光朗)

■具体物の特徴を知らない場合は、処理への取り込み方がいかに優れていたとしても、その価値が見えない。囲碁には素人だったので、ここがすごいのだという点が共感できなく残念だった。(匿名希望)

「3.4 自戦記 (加藤英樹)」

■囲碁に詳しいわけではなかったが面白い内容になっており良かった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：なぜプログラミングは難しいのか？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■高校生に理解させるための意欲と工夫が感じられて良かった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：高校の情報科教員の養成と教科研究会の活性化」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■当方も DTP の科目を分担しているので会誌に具体的に記載された授業手法が大変参考になりました。(大塚敬義)

■あまり情報、情報と押しつけるのはいかがなものかと思えます。高校では美術、音楽、演劇などの芸術科目を増やすべきではないでしょうか。(匿名希望)

コラム「IT 好き放題：情報現象の裏に潜む法則」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■確かに、近年この分野での目ざましい進歩の話は見かけませんが、文脈自由言語の識別と、スタック付き (プッシュダウン) オートマトンの関係については、現在でもソフトウェアを考える上でのよりどころとして役目を果たしていると考えています。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■「IT エンジニアが知っておくべき特許情報調査の基礎知識」：特許検索式をうまく作るヒント集のような記事も希望します。(匿名希望)

■中等教育に必要な教師力 (教育力) について、別の機会でもよいので補足してほしいです。(千葉一博)

■2 つの特集を 1 号に 1 個にしてそれぞれボリュームアップしてもらえればと思います。特大特集、総特集などを銘を打ってもらえればと思います。(五味 弘)

■今後取り上げてほしいテーマ：各種世論調査の方法と問題。(西尾建男)

【本欄担当 東本崇仁、服部宏充／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「Multiagent-based Societal Systems」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-V.html	6月9日(日)		
	論文誌「オーバーレイを考慮したインターネットと運用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-P.html	6月17日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-R.html	6月21日(金)		
	論文誌「情報システムの新展開」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-IS.html	8月12日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html	9月6日(金)		
	論文誌「地域貢献・復興」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-N.html	10月21日(月)		
5月16日(木)	第161回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm161.html	3月7日(木)	当日のみ	北九州国際会議場
5月16日(木)	第60回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip60.html	3月8日(金)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
5月16日(木)～ 5月17日(金)	第38回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi38.html	3月11日(月)	当日のみ	熊本大学
5月16日(木)～ 5月17日(金)	第88回グループウェアとネットワークサービス・ 第5回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn88spt5.html	3月11日(月)	当日のみ	首都圏近郊 (詳細は未定)
5月17日(金)～ 5月18日(土)	第28回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec28.html	3月11日(月)	当日のみ	大阪大学
5月17日(金)～ 5月18日(土)	第144回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al144.html	3月22日(金)	当日のみ	小樽商科大学
5月22日(水)～ 5月24日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2013) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sacsis2013.html		5月1日(水) 事前割引申込締切	仙台国際センター
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第155回マルチメディア通信と分散処理・ 第66回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps155mbl66.html	3月14日(木)	当日のみ	石垣市民会館 中ホール
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第211回自然言語処理・第96回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl211slp96.html	3月23日(土)	当日のみ	北陸先端科学技術大学 院大学東京サテライト
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第93回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps93.html	3月28日(木)	当日のみ	北海道大学 百年記念会館
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第7回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds7.html	3月29日(金)	当日のみ	同志社大学 東京オフィス
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第153回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci153.html	4月11日(木)	当日のみ	国士舘大学 世田谷キャンパス
5月24日(金)	2013年度北陸支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html			石川ハイテク交流セン ター (石川県能美市)
5月24日(金)～ 5月25日(土)	第10回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle10.html	4月12日(金)	当日のみ	大阪大学サイバー メディアセンター
5月27日(月)	東海支部設立30周年記念行事 http://www.ipsj-tokai.jp/			ホテルプラ王山 (名古屋市中)
5月27日(月)	2013年度東海支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html			ホテルプラ王山 (名古屋市中)
5月27日(月)～ 5月28日(火)	第180回ソフトウェア工学・第29回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se180emb29.html	4月11日(木)	当日のみ	東京大学 向ヶ丘 ファカルティハウス
5月29日(水)	第139回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc139.html	3月28日(木)	当日のみ	東京大学 柏キャンパス
5月29日(水)	2013年度東北支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html			東北大学
5月30日(木)	2013年度中国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html			広島市まちづくり 市民交流プラザ
5月30日(木)～ 5月31日(金)	第187回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim187.html	3月8日(金)	当日のみ	東京農工大学
6月3日(月)～ 6月4日(火)	第94回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro94.html	4月12日(金)	当日のみ	アルヴェ 秋田市民交流 プラザ
6月5日(水)	2013年度定時総会 http://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20130605.html			学士会館
6月7日(金)	第124回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is124.html	4月19日(金)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
6月14日(金)	2013年度四国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html			香川大学 林町キャンパス
6月24日(月)	第151回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg151.html	4月26日(金)	当日のみ	リンクステーションホール 青森(青森市文化会館)
6月26日(水)	連続セミナー 2013 第1回「ビッグデータ活用のための機械学習技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
6月27日(木)～ 6月28日(金)	第34回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio34.html	4月10日(水)	当日のみ	沖縄科学技術大学院 大学メインキャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月27日(木) ~ 6月28日(金)	第4回デジタルコンテンツリエーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc4.html	5月23日(木)	当日のみ	神奈川工科大学
6月28日(金)	第30回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi30.html	4月30日(火)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
7月10日(水) ~ 7月12日(金)	マルチメディア分散・協調とモバイル (DICOMO) 2013 シンポジウム http://www.dicomo.org/2013/index.html	5月17日(金)		十勝川温泉 ホテル大平原
7月18日(木) ~ 7月19日(金)	第81回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会		当日のみ	日本女子大学 (目白キャンパス)
7月18日(木) ~ 7月19日(金)	第62回コンピュータセキュリティ・第6回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec62spt6.html	5月10日(金)	当日のみ	札幌コンベンションセンター
7月29日(月) ~ 8月1日(木)	第16回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2013) http://cvim.ipsj.or.jp/miru2013/index.php		当日可	国立情報学研究所
7月30日(火)	連続セミナー 2013 第2回「G空間情報処理におけるビッグデータとその応用」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
7月31日(水)	第39回 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi39.html	5月27日(月)	当日のみ	青山学院大学
8月21日(水) ~ 8月22日(木)	DA シンポジウム 2013 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2013.html	5月10日(金)		下呂温泉 水明館
8月22日(木) ~ 8月23日(金)	平成25年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html	6月14日(金)		会津大学
8月31日(土) ~ 9月2日(月)	第100回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html		当日のみ	東京大学
9月2日(月) ~ 9月3日(火)	第10回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/12th_Webology/index.html	7月1日(月)	定員になり次第	かんぼの宿 有馬
9月4日(水) ~ 9月6日(金)	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/	一般論文 5月23日(木)		鳥取大学 鳥取キャンパス
9月19日(木)	連続セミナー 2013 第3回「ビッグデータ時代のセキュリティ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
9月24日(火) ~ 9月25日(水)	平成25年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2013/	7月12日(金)		静岡大学 浜松キャンパス
9月24日(火) ~ 9月25日(水)	平成25年度(第66回)電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月16日(火)		熊本大学 黒髪南地区
9月25日(水)	2013年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2013/index.html	6月21日(金)		大阪大学 中之島センター
10月3日(木)	連続セミナー 2013 第4回「ライフログとビッグデータ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
11月14日(木)	連続セミナー 2013 第5回「産官学民融合で実現へ！スマートシティをデザインする」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
12月16日(月)	連続セミナー 2013 第6回「クラウドソーシングとソーシャルメディア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
12月20日(金) ~ 12月22日(日)	第101回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html		当日のみ	九州大学
2014年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyuu/happyou/index.html#syorui	2月28日(金)		

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.5)
- 4月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.54 No.5)
- 4月15日 論文誌「地域貢献・復興」特集 論文募集
- 4月08日 論文誌「オーバーレイを考慮したインターネットと運用技術」特集 論文募集
- 4月08日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 4月01日 論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集 論文募集
- 4月01日 2013 年度代表会員名簿
- 3月28日 (緊急) HCI 研究会ウェブサイトの改ざんについて
- 3月28日 (緊急) HCI 研究会ウェブサイトのマルウェア感染懸念について
- 3月22日 2013 年度役員改選投票の結果について

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申 込 先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■大阪工業大学情報科学部

- 募集人員 准教授、講師、特任准教授または特任講師 1名（職階等の詳細は本学Webページをご参照ください）
 専門分野 情報デザイン分野（メディアサイエンスの視点に立った情報デザイン、メディア応用、ビジュアライゼーション等）
 ※職階および授業担当（学部・大学院）については、本学Webページをご参照ください
 応募資格 博士の学位を有する方。大学院教育では、情報科学研究科博士課程前期課程の授業と研究指導ができることが望ましい
 着任時期 2014年4月1日
 提出書類 (1)履歴書*, (2)業績書*, (3)主要論文別刷（3編以内、コピー可）、(4)レポート（1000字以内、A4用紙1枚、様式任意、氏名記載、テーマは次のいずれかを選択すること：「教育を充実させるため実践してきた具体的事項」、「就任後の教育に対する抱負」）
 ※(1)履歴書、(2)業績書については、本学所定の様式以外のものは受け付けません。本学Webページから様式をダウンロードしてください
 応募締切 2013年6月10日（必着）
 照 会 先 〒573-0196 大阪府枚方市北山1-79-1 大阪工業大学 情報科学部事務室 E-mail: jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp
 Tel(072)866-5301 Fax(072)866-8302
 そ の 他 提出書類・応募方法および個人情報の取扱いなどの詳細については、必ず本学Webページ（<http://www.oit.ac.jp/>）で確認してください

■芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科

- 募集人員 非常勤講師 1名
 専門分野 確率論、情報理論など情報工学関連分野
 担当科目 「確率論と情報理論」
 応募資格 1)博士号取得者、大学院博士課程修了者、または相応の研究実績または実務経験がある方
 2)上記科目の学部レベルの教育を担当できる方
 着任時期 2013年9月19日（9月19日より開始される後期授業を担当）
 提出書類 (1)履歴書（学歴、職歴、学会および社会における活動等、連絡先のE-mailアドレスを記述のこと）、(2)研究業績リスト（査読付き論文、査読付き国際会議、その他の論文（口頭発表を含む）、著書を区別、すべての著者名を記載、年号は西暦、分類ごとに最新のものから番号順）、(3)主要論文別刷（最近のものを5編以内、コピー可）、(4)教育に対する抱負（A4用紙2枚以内）、(5)推薦書
 応募締切 2013年6月10日（必着）
 送 付 先 〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学工学部情報工学科 「教員公募書類在中」と朱書き書留
 照 会 先 情報工学科 学科主任 平川 豊 E-mail: hirakawa@sic.shibaura-it.ac.jp Tel(03)5859-8509

■大阪大学大学院工学研究科

- 募集人員 助教 1名(任期5年, 業績審査の上, 再任可)
- 所 属 電気電子情報工学専攻通信システム工学講座メディア統合コミュニケーション工学領域
- 専門分野 マルチメディア(映像・画像・音・テキスト)処理
- 担当科目 大学院工学研究科電気電子情報工学専攻および工学部電子情報工学科情報通信工学コースの実験・演習・研究指導
- 応募資格 博士の学位を有し, 教育および研究指導を日本語で担当できる方
- 着任時期 2013年10月1日以降の可能な限り早い時期
- 提出書類 (1)履歴書(住所, 連絡先(電話番号・E-mailアドレスを含む), 学歴(高等学校卒業以降), 職歴, 研究歴, 学会活動等社会活動歴, 科学研究費補助金などの研究資金(代表と分担を区別), 受賞名(内容, 選考対象数と受賞数の比率)などを記載), (2)研究業績リスト(著書, 学術研究論文, 解説論文, 国際会議論文, その他口頭発表(それぞれ査読の有無を区別), 特許などを区別して記載), (3)主要論文別刷(3編以内, コピー可), (4)現在までの研究の内容と成果(主要論文に対応させて記述, A4用紙2枚以内), (5)今後10年程度の間に行う研究についての課題・目的・計画・方法, および今後の大学における教育・人材育成に関する意見, 抱負など(A4用紙2枚以内), (6)応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先
- 応募締切 2013年6月28日
- 送付先/照会先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻通信システム工学講座メディア統合コミュニケーション工学領域 教授 馬場口登 E-mail: babaguchi@comm.eng.osaka-u.ac.jp Tel(06)6879-7744
「教員応募書類在中(助教)」と朱書き郵送
- そ の 他 (1)書類選考の上, 面接を行います, (2)応募書類は原則として返却しません, (3)応募書類は本選考のみに使用し, ほかの目的には使用しません, (4)適任の候補者が得られない場合には, 最終候補者を選考しないことがあります, (5)本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております
勤務地: 大阪大学吹田キャンパス(大阪府吹田市)

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

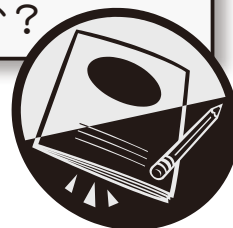
■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

論文なんて関係ないと思っている方も デジタルプラクティスに論文を書いてみませんか？



「デジタルプラクティス」は、本学会が発行している JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションに次ぐ第4の論文誌です。現在、皆様からの論文募集中ですので、以下の案内をご覧になり奮ってご投稿ください。

▶ http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/shippitsu_annai.html

JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、**デジタルプラクティスは現場の知恵、創意工夫、教訓など実践的な知見をターゲット**にしています。現場にいる他の IT 技術者にとって役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思います。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ること、使ってもらう機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の1つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT 技術者は組織に閉じこもるのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それが IT 技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。

実際にデジタルプラクティスへ投稿されるときは、どうぞもっとリラックスしてください。論文を書き馴れていない著者の方々のために、2 ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。以下のような投稿準備フォームも用意しました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>

そして、各論文ごとに個別に編集担当者を割り当てて、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/shinsa-tebiki.html>

詳しくはデジタルプラクティスの Web ページをご覧ください。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな？

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし！
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう！

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込／照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370 (会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 22,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

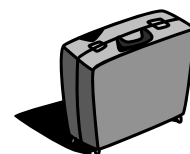
— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>
— [広告] —

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の 2 種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書 評：過去 2 年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格
原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
 - 1) 表 題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN を書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Fax など）の記載を忘れずに。
 - 3) 本 文：書評、会議レポートとも 2,100 字前後で書く。
 - 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内／書評・会議レポート」
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。
4. 原稿の取扱い
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp





Journal of Information Processing

CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。

また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: editt@ipsj.or.jp



協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8 月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は 1 学会分といたします。

※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

[6月10日頃までにお出しく下さい]

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 (E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
 ※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. () -
- [3] E-mail:
- [4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
 (e) 学生 (f) その他 4- []
- [5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
 (i) 学生 (j) その他 5- []
- [6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- [7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- [8] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- [9] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- [10] 今月号（2013年6月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：「美」と「ロマン」 10-1- []
- 古機巡礼/二進伝心：2012年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式 10-2- []
- IT好き放題：アムダール・プロジェクトと池田ドクトリン 10-3- []
- 特集：実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用
1. 大規模人間行動センシングデータベース HASC Corpus とその応用 10-4- []
- コラム1：行動センシング総合ツール HASC Tool 10-5- []
2. スマートフォンを用いた歩行者デッドレコニング 10-6- []
3. 人間行動センシングから認識自動化を目指して 10-7- []
4. スマートフォンを用いた生活行動認識 10-8- []
5. 携帯機器の帯同場所のセンシング 10-9- []
- コラム2：大規模行動センシングのための情報圧縮技術 10-10- []
6. 装着型センサを用いた運転者行動センシング 10-11- []
7. ウェアラブルセンシングの実世界応用 10-12- []
8. スポーツ行動センシング 10-13- []
9. スマートフォン行動情報収集と看護行動センシング 10-14- []
- 最先端医療を実現する生体内外センサネットワーク技術 10-15- []
- 日本におけるスマートグリッドの動向 10-16- []
- ぺた語義：コラム：思考の道しるべ 10-17- []
- ぺた語義：コラボレイティブ・マネジメント方式による創造的IT技術者育成 10-18- []
- ぺた語義：高度IT人材育成に関する韓国視察報告 10-19- []
- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記[10]の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション），国際会議，IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

今回の特集である人間行動センシングは、「人間行動理解のための装着型センサによる大規模データベース構築」を目指して活動している、通称 HASC と呼ばれる研究グループのメンバが中心に執筆しています。

HASC は、2009 年 7 月別府で開催された本会の DICOMO 2009 シンポジウムにて賛同メンバを集い活動を開始しました。確か発端は UBI 研究会関連セッションでの質疑で発案され、その日の夜の（宴会）セッションにはもう HASC 活動の基本コンセプトがまとめられたプレゼンテーションがなされていたのを思い出します。その後、HASC の活動は科研費基盤（A）にも助成されてこの 3 年間で、人間行動センシングデータを収集し、互いのデータを認識し合い、認識を越えた課題に挑戦する HASC チャレンジを毎年開催しております。

今年は 9 月にチューリッヒで開催される 2013 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp 2013) に併設の International Workshop on Human Activity Sensing Corpus and Its Application という国際ワークショップの開催も決定しま

した。また、HASC チャレンジ & シンポジウムも 10 月 21 日に関西で盛大に開催予定です。今後ますますの発展が見込まれます HASC 活動への皆さまのご参加をお待ちしております。

（西尾信彦／本特集ゲストエディタ）

本特集の編集の佳境が年度末を跨ぐという厳しいスケジュールの中、お忙しい著者の皆様にご対応いただき、なんとか行動センシング特集ができました。

エディタも年度末進行で青色吐息の中、学会編集部にはいろいろと無理をお願いし、大変ご迷惑をおかけしました。苦労はしましたが、結果として、現在の日本の行動センシングの状況をたいへんよく表している特集になったと自負しております。

スマートフォンがこれだけ普及した今、情報端末を使って人の行動を理解するための技術はさらに重要になると思われます。本特集が皆様の参考になり、行動情報処理分野が多く研究者でますます盛り上がることを期待します。

（河口信夫／本特集エディタ）

次号（7 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

巻 頭：会長就任にあたって……………喜連川優

「特集」ネットワークロボット、その人と街とのかかわり

ユビキタスコンピューティング環境の進化とネットワークロボット～スマートフォン、クラウド、IoT、スマートシティとの連携～／ネットワークロボットの広がり—あなたはどのロボットサービスを選びますか？—／人としてのミニマルデザインを持つ遠隔操作型ロボット／cyber-physical ネットワークロボティクス—社会的・身体的知能シミュレータ SIGVerse の展開—／いつでも一緒にネットワークロボット—アンドロイド端末による屋内外行動計測、ApriPetit による問診対話—／高齢者の日常コミュニケーションと擬人観的ロボット—尊厳ある高齢期を実現する技術—／ヨーロッパのカフェにたたずむジェミノイド／顧客を誘導するネットワークロボット—ユビキタスマーケットによる O2O サービス—

「小特集」ノーマリーオフコンピューティング

ノーマリーオフコンピューティング—期待と課題—／センサ端末におけるノーマリーオフコンピューティング／携帯情報端末におけるノーマリーオフコンピューティング—STT-MRAM で実現するノーマリーオフメモリ技術—／ヘルスケア応用生体情報計測センサにおけるノーマリーオフコンピューティング

解 説：構造的な事前情報を用いた機械学習：構造正則化と劣モジュラ性……………河原吉伸

連 載：古機巡礼／二進伝心

教育コーナー：べた語義

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm× 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm× 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 54 巻 6 号 掲載広告（五十音順）

☐ インタフェース 表 2 ☐ フォーラムエイト 表 2 対向

☐ すべての会社を希望

■資料送付先

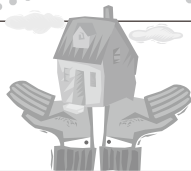
フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20 ～ 50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9口)

NTT DATA

NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)